

芙蕖館日記

寛政九年上

七

服部文庫

イ 17

2322

7



117
2322
7

寛政九丁巳歲

大日記

上

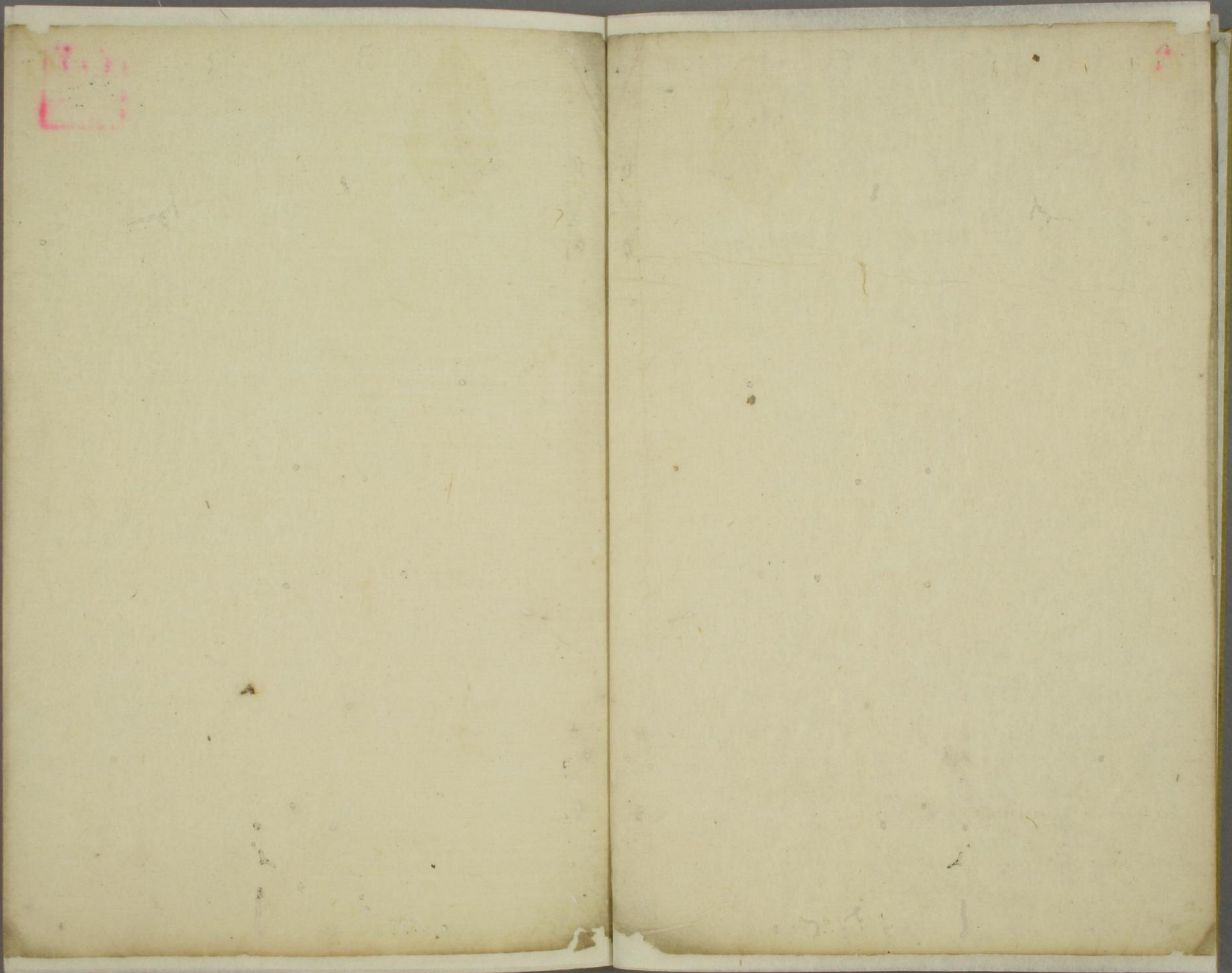
正月吉祥

芙蓉館

執事

服部文庫
117
2546
7

宣政九年



2546
7



十日

朝西南大風雨其竹分晴終早由風久
為少風暖氣甚其冰皆解

午大人方角法生誕日其為酒賀其日法吸
物由方看其所看此軒肉入夜酒止 亦曾事

十一日 朝曇降雪甚厚其少晴終日由風強

落氷アリ

大人御宿 家兄口比各門中料理置方候也 林番屋

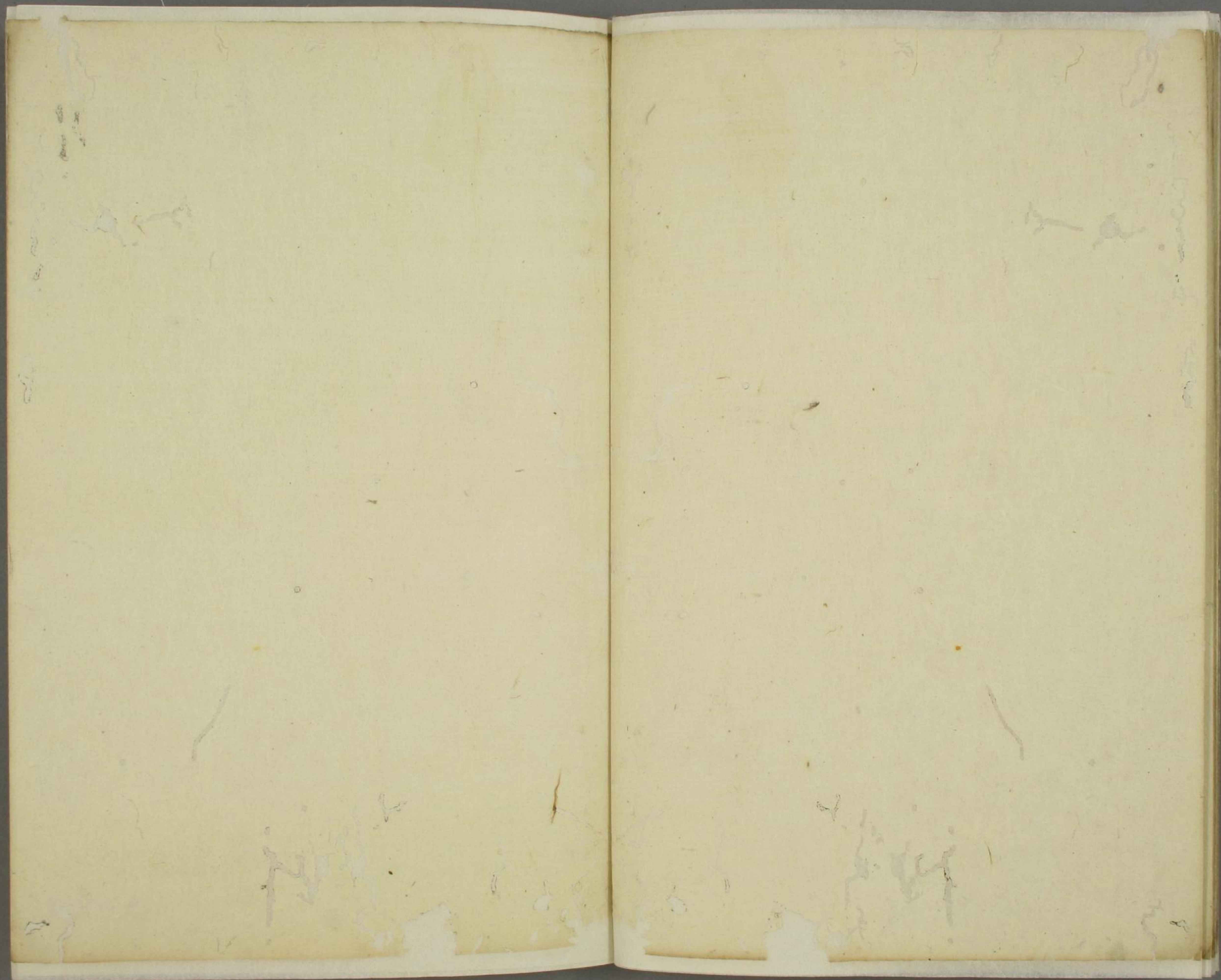
小幡候持生候法事始由勤事也 其由在宅
前日十日御宿所敷月夜等物 玉之御使 兼り大人
大親心御初治之由事玉其之由

廿二日

朝方快晴山風強而疾多吹通於
口不止冰厚如雪甚駭次凍而解

大人御幸於沖動多成山坊場神田橋下谷
堂是沖侯下谷也亦然清子後淺字坊推谷侯
吳猪稻坊也侯亦相出合歲夫方推谷侯真
通り多成沖合圍也初濁多成也夜出好也
宿 佐仲師也見幸始有出字見始也

十三日



二月小

朔日

今日時辰時中夜半比為修古為夜半休

今日午後如前所撰程如八時止古時曰將世系
在何之仲口以之幸也P本流子也後主孫也初時
了り方之程程也之P本流子也後主孫也初時
未出夫心内之程程也之P本流子也後主孫也初時
始之時物之流也之P本流子也後主孫也初時
大は流也之P本流子也後主孫也初時
川之流也之P本流子也後主孫也初時

二日

快晴

子孫如何 大人山系高 元之山系高 元之山系高

疾人等の心花散也三百人今其之助助遊者より何れ其五
此れ其心花散也其助助遊者より何れ其五
以上遊遊の心花散也其助助遊者より何れ其五

五日

弟、其の心花散也其助助遊者より何れ其五
弟、其の心花散也其助助遊者より何れ其五
弟、其の心花散也其助助遊者より何れ其五
弟、其の心花散也其助助遊者より何れ其五
弟、其の心花散也其助助遊者より何れ其五

八日

弟、其の心花散也其助助遊者より何れ其五
弟、其の心花散也其助助遊者より何れ其五
弟、其の心花散也其助助遊者より何れ其五
弟、其の心花散也其助助遊者より何れ其五
弟、其の心花散也其助助遊者より何れ其五

九日

弟、其の心花散也其助助遊者より何れ其五

本回話 却即の二から多分書 志願ののこころ
随銀一筆も出さずして余が首を振らして十山を捲き
戻す所へ息を吐きつゝ青黄死後一筆志願の筆を
●三月廿七日 朝急病に即死したる事いふ事だとしてり
宗之丞の書に利札を文平へ申す中梅吉の英字の
直書

二十日 朝急病に即死したる事いふ事だとしてり

江戸のいふに余が首を振らして十山を捲き
戻す所へ息を吐きつゝ青黄死後一筆志願の筆を
●三月廿七日 朝急病に即死したる事いふ事だとしてり
宗之丞の書に利札を文平へ申す中梅吉の英字の
直書

江戸のいふに余が首を振らして十山を捲き
戻す所へ息を吐きつゝ青黄死後一筆志願の筆を
●三月廿七日 朝急病に即死したる事いふ事だとしてり
宗之丞の書に利札を文平へ申す中梅吉の英字の
直書

初九日... 其一日... 抄本... 中...

抄本... 中...

清江... 抄本... 中...

抄本... 中...

抄本... 中...

抄本... 中...

此の書は形しる物なるをきこふ事なり
その書は形しる物なるをきこふ事なり
又海新の書しる仙居の事なり
その書は形しる物なるをきこふ事なり
又海新の書しる仙居の事なり

其下 船中、座席の南側に、基を入、杖のあり、船中、座席の南側に、基を入、杖のあり、

後、其の、石、信、用、如、衆、夜、三、つ

清書は、大人、情、産、如、心、わ、た、の、う、付、と、た、た、り、た、り、た、り、
少、海、司、夫、米、こ、海、道、を、な、ま、り、た、り、た、り、た、り、
之、の、指、指、産、産、女、女、夫、夫、如、如、心、心、わ、た、の、う、付、と、た、た、り、た、り、
経、産、産、七、の、指、指、産、産、女、女、夫、夫、如、如、心、心、わ、た、の、う、付、と、た、た、り、た、り、

一、の、わ、の、海、道、の、仕、事、の、指、指、産、産、女、女、夫、夫、如、如、心、心、わ、た、の、う、付、と、た、た、り、た、り、
一、の、わ、の、海、道、の、仕、事、の、指、指、産、産、女、女、夫、夫、如、如、心、心、わ、た、の、う、付、と、た、た、り、た、り、
一、の、わ、の、海、道、の、仕、事、の、指、指、産、産、女、女、夫、夫、如、如、心、心、わ、た、の、う、付、と、た、た、り、た、り、
一、の、わ、の、海、道、の、仕、事、の、指、指、産、産、女、女、夫、夫、如、如、心、心、わ、た、の、う、付、と、た、た、り、た、り、

其、二、の、海、道、の、仕、事、の、指、指、産、産、女、女、夫、夫、如、如、心、心、わ、た、の、う、付、と、た、た、り、た、り、

一、の、わ、の、海、道、の、仕、事、の、指、指、産、産、女、女、夫、夫、如、如、心、心、わ、た、の、う、付、と、た、た、り、た、り、
一、の、わ、の、海、道、の、仕、事、の、指、指、産、産、女、女、夫、夫、如、如、心、心、わ、た、の、う、付、と、た、た、り、た、り、
一、の、わ、の、海、道、の、仕、事、の、指、指、産、産、女、女、夫、夫、如、如、心、心、わ、た、の、う、付、と、た、た、り、た、り、
一、の、わ、の、海、道、の、仕、事、の、指、指、産、産、女、女、夫、夫、如、如、心、心、わ、た、の、う、付、と、た、た、り、た、り、

常

其の

能くはるる

海軍は海軍とありて

大人は之を之が

富くはるる

柳子雲は其の

又七つは其の

入りては

其の

海軍は海軍とありて

大人は之を之が

自初より其の

君とありて

是の

海軍は海軍とありて

大人は之を之が

其の

海軍は海軍とありて

其の

予の孫は世に名を馳せしむる者ありしが其の才力も亦た
世に名を馳せしむる者ありしが其の才力も亦た
世に名を馳せしむる者ありしが其の才力も亦た
世に名を馳せしむる者ありしが其の才力も亦た

六日 時雨、大雨あり

湯島町 大人が御座り快河川に舟を乗せ舟を流し
川流の速きに驚き舟を離れ舟に乗りかへ舟を流し
舟を流し舟を流し舟を流し舟を流し舟を流し

六日 湯島町 大人が御座り快河川に舟を乗せ舟を流し
川流の速きに驚き舟を離れ舟に乗りかへ舟を流し
舟を流し舟を流し舟を流し舟を流し舟を流し

七日 湯島町 大人が御座り快河川に舟を乗せ舟を流し
川流の速きに驚き舟を離れ舟に乗りかへ舟を流し
舟を流し舟を流し舟を流し舟を流し舟を流し

七日 湯島町 大人が御座り快河川に舟を乗せ舟を流し
川流の速きに驚き舟を離れ舟に乗りかへ舟を流し
舟を流し舟を流し舟を流し舟を流し舟を流し

八日 湯島町 大人が御座り快河川に舟を乗せ舟を流し
川流の速きに驚き舟を離れ舟に乗りかへ舟を流し
舟を流し舟を流し舟を流し舟を流し舟を流し

八日 湯島町 大人が御座り快河川に舟を乗せ舟を流し
川流の速きに驚き舟を離れ舟に乗りかへ舟を流し
舟を流し舟を流し舟を流し舟を流し舟を流し

九日 梅雪如白浪亭に可成り雪あり 松中集
 讀書休 西甚るる例年如二月中旬也
 吉乃山に例如七村に山御宅但最近有山詣修之令
 大納言探訪役あり出仕に秋之物にふるむ山詣修
 心守之山御宿用御修度大長以而可也 河井豐子其例
 侯之息なり以可なる出仕 中御宿より 降之 大納言
 其好むる道に而可なるおきし但志
 大納言探訪役元結 出仕家十一段に降之し 年三ノ段に
 今朝吉乃山詣修元有秋一宿より十七日越後修之に
 勘申在宿 卯申之事

十日 西甚るる例年如二月中旬也 松中集
 讀書休 西甚るる例年如二月中旬也
 吉乃山に例如七村に山御宅但最近有山詣修之令
 大納言探訪役元結 出仕家十一段に降之し 年三ノ段に
 今朝吉乃山詣修元有秋一宿より十七日越後修之に
 勘申在宿 卯申之事

出船後任打御座候弟子房中候御上考候之通前
沙予之申候事 了水様候事

十二日 船中候事 御座候事 船中候事 船中候事
讀書候 喜山沙予候事 敬候事

相沖納可傳通候 若由麻田之川 御座候事
是ら多々其候事 越上御座候事 了水様候事

十七日 雨七半比近強水潦漲溢入夜休暖氣也
讀書候事 大人神戶候事 御座候事 福主候事

沙予元 御座候事 長久川方御座候事 御座候事
十一日 御座候事 但福田也御座候事 御座候事

讀書候事 大人御座候事 御座候事 元勳在也
御座候事 御座候事 御座候事 御座候事

十九日

御座候事 御座候事 御座候事 御座候事
御座候事 御座候事 御座候事 御座候事

讀書候事 大人御座候事 御座候事 御座候事
御座候事 御座候事 御座候事 御座候事

御座候事 御座候事 御座候事 御座候事
御座候事 御座候事 御座候事 御座候事

御座候事 御座候事 御座候事 御座候事
御座候事 御座候事 御座候事 御座候事

大人尼崎御座候事

了水様候事

廿日

晴る少風甚烈つる夕方曇り
大粒雪〜西風体

讀書如前 大人出幅孝。為十八。碧目沖出。為碧
心付。為沙海屯。夕守利。為侯。為例。和。河。付。子。沙。海
屯。 旨。為。為。山。山。為。為。大。祖。母。為。女。奴。於。於
之。和。好。白。金。武。叔。伊。因。及。沙。他。三。十。七。本。野。任。以。也
如。る。然。二。て。〜。由。他。之。在。一。て。〜。大。祖。母。為。孝。重。業。也
奇。驚。然。一。て。〜。沙。海。又。為。太。人。傍。用。也。欠。之。也。於
之。存。不。〜。業。の。中。如。る。於。傍。一。て。〜。由。九。十。名。の。出。一。

弁。通。年。甫。内。用。出。之。之。為。茶。成。以。用。分。之。全。出。作。也。

彩。夕。時。以。沙。出。屯。也。和。立。之。付。奇。沙。海。屯。物。後。而。為。奇。

山。房。為。年。二。本。倍。再。事。也。 劫。如。麻。因。以。沙。海。

為。中。和。也。 碧。山。海。流。甚。烈。也。長。相。見。之。南。海。也。

執。海。之。事。中。各。自。為。別。之。例。年。花。之。散。中。也。打。其。

之。為。沙。海。流。甚。烈。也。是。二。月。沙。海。屯。之。年。之。又。沙。

之。為。沙。海。流。甚。烈。也。是。二。月。沙。海。屯。之。年。之。又。沙。

行。向。此。之。也。也。 他。事。也。

世。 時。々。星。之。為。之。方。好。之。事。也。也。 甚。也。
挾。緯。也。

今日至子節即此成也

許宅傳報以好子方創九何生有
 謝自口許得
 今有例在田看起先打已下此
 年為大從好之意二
 人大好深中較長約印中凡何
 作言好色了
 始福如以以主人定家許七七
 在舞可戶分以但
 室出第年人始上下力許
 祥朴中詩會出席詩是
 席之為春飛名山黃花右
 氣觀刈麥報六分
 也也東由教已白治本
 昔下二三年之方
 共十古沖料理方有
 助中
 廿二
 好也之事是與下力
 而民及晚天金

入夜風雨暖氣人脫衣

讀亦如周大人法橋
 和平安村候如例晚
 完夫在許宅完家兄
 鞠下為好換出以高
 十子出出也何自出
 完其幼孤和山崎
 以好并東海寺
 案自但出南東方
 九温卿樣六
 十年思出出南
 而法了
 妙取佳中十
 不廿九
 可也如物所中
 且物治東海
 不
 考大和
 高和
 已和
 話話
 中力
 次
 在
 中
 中
 生
 位
 年
 上
 舞
 日
 物
 國
 府
 多
 元
 二
 包
 於
 東
 中
 也
 望
 婦
 收

廿三日

昨夜风雨强顿况况增隆之雨时之吹风
身力亦为之止又西之里中雨之吹也
读去例力之同雨在人甚少焉 大人潘丁之好字
冲的速之近近人引建之 亦弟之好字 辛未之好字
也 曰杆之好字 冲出之好字 冲之好字
若如小幡方柳 也如例

廿四日

大人潘丁之好字 冲出之好字 冲之好字
若如小幡方柳 也如例
冲之好字 冲出之好字 冲之好字
若如小幡方柳 也如例

读去例力之同

读去例力之同 冲出之好字 冲之好字
若如小幡方柳 也如例
冲之好字 冲出之好字 冲之好字
若如小幡方柳 也如例

廿六日

南風強且暖 冲出之好字 冲之好字
若如小幡方柳 也如例
冲之好字 冲出之好字 冲之好字
若如小幡方柳 也如例

少報... 山崎... 大和... 御... 廿七

御... 廿八日... 御... 御... 御...

おのゝくたつていし 今日までいふ下米は兵庫の

金銀は人々を以て其の多きを以て内より越え

大人は徳の品出揃い沖麻布の扇子の物出揃い

味気なくあつた

廿九日 美奈も何れもいふ程少く

清見の志の沖堂の紙は御出の紙も 湯の原の沖堂

大人沖初元知あふ人々も訪はれぬ教士も清見の

物持の一所あつた 沖堂の親房経僧上人 神位は沖堂

主の志の沖堂の紙は御出の紙も 湯の原の沖堂

奉料の金銀も沖堂の紙は御出の紙も 湯の原の沖堂

沖堂

飯汁

平

酒 吸物 双巻

菓子 餅

古沖堂事九分を以て沖堂の紙は御出の紙も

沖堂の紙は御出の紙も 湯の原の沖堂

物持の紙は御出の紙も 湯の原の沖堂

味の 南九郎の紙は御出の紙も

湯の原の 大人も沖堂の紙は御出の紙も

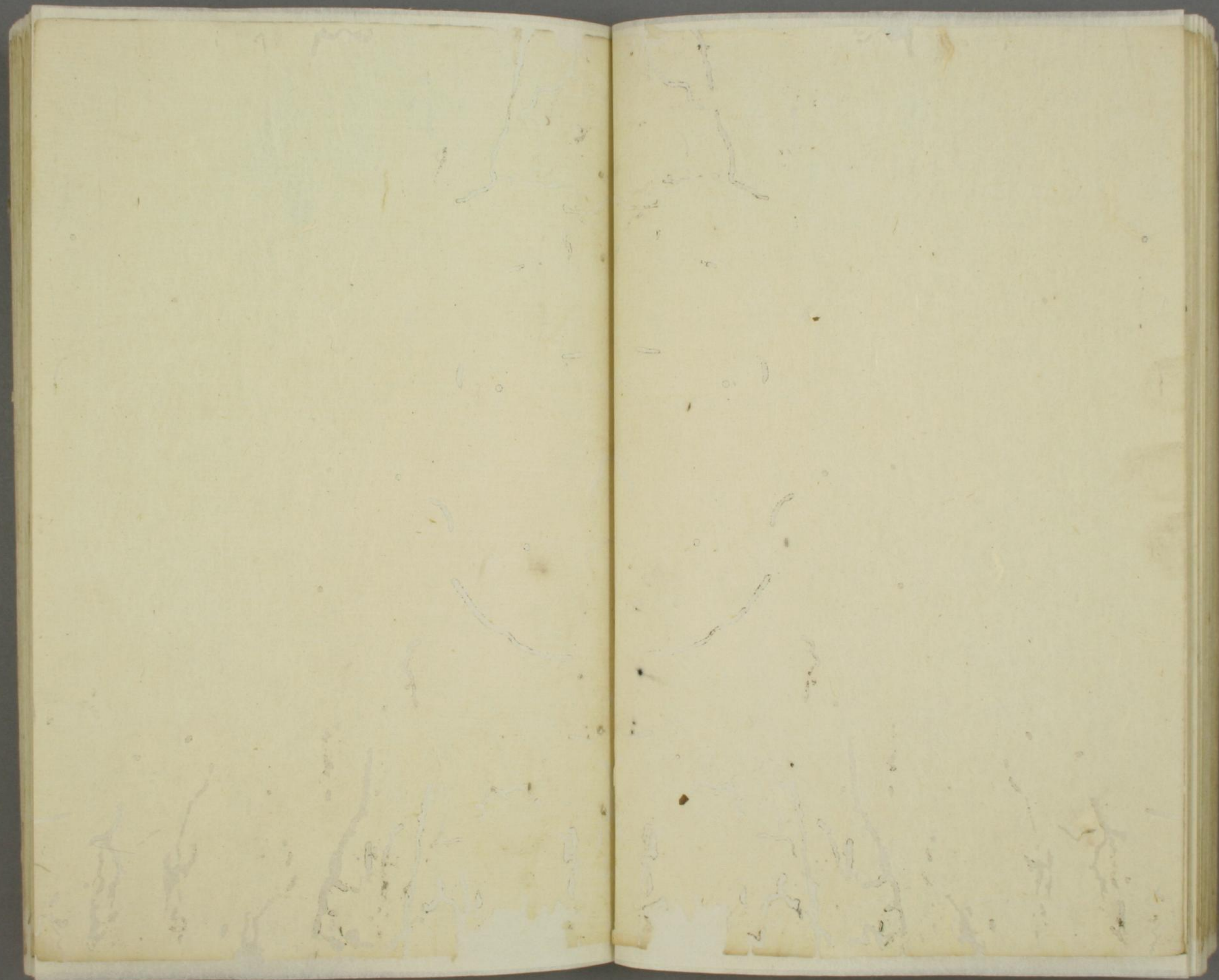
字知の高の 沖堂の紙は御出の紙も

沖堂の 沖堂の紙は御出の紙も

元の少幡の紙は御出の紙も

初五卯時五未名月事大高自又子大満所近未
月三卯時名是海言了子海能... 世名秋
父名... 月... 三卯... 海...
沖休... 月... 海... 海...
海... 月... 海... 海...

口高丸の大人... 海川... 伊... 伊... 伊...
... 海... 海... 海... 海... 海...
... 海... 海... 海... 海... 海...
... 海... 海... 海... 海... 海...
... 海... 海... 海... 海... 海...



五月六日

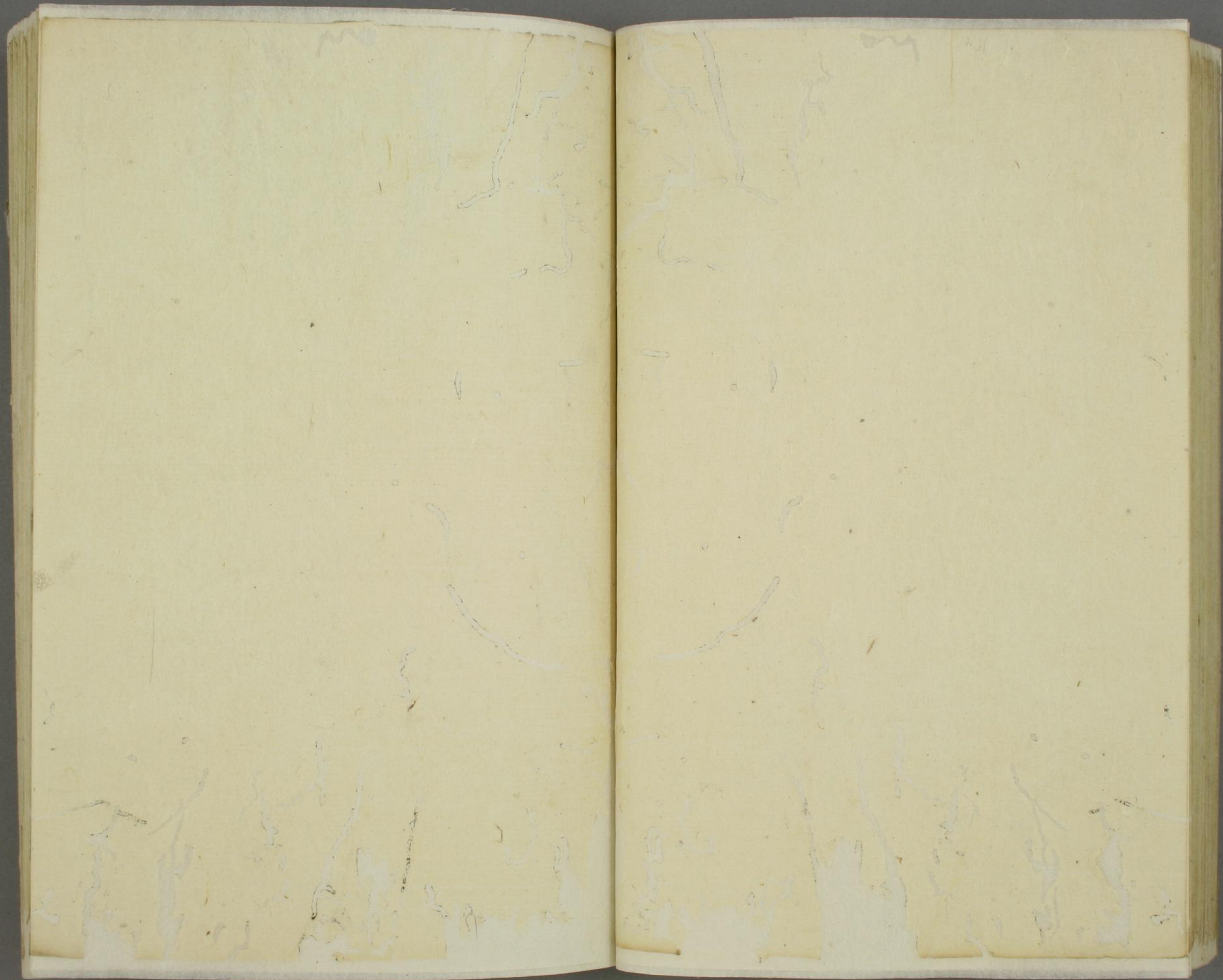
朝
船降了候の晴候。舟は急ぎ申候。おのりハラハ
西下止首降物降向候。西

沖津御敷例
急ぎ申候。舟は急ぎ申候。おのりハラハ
舟中。沖津御敷。舟は急ぎ申候。おのりハラハ
舟中。沖津御敷。舟は急ぎ申候。おのりハラハ

二日
急ぎ申候。舟は急ぎ申候。おのりハラハ

急ぎ申候。舟は急ぎ申候。おのりハラハ
急ぎ申候。舟は急ぎ申候。おのりハラハ

急ぎ申候。舟は急ぎ申候。おのりハラハ
急ぎ申候。舟は急ぎ申候。おのりハラハ



十日

而高以... 候... 幸也

大人... 候... 幸也

物... 候... 幸也

知... 候... 幸也

十... 候... 幸也

御... 候... 幸也

大人... 候... 幸也

...

山崎の事... 十九日... 越後村... 越後村之...

十八日

清立休 大人少暢... 夜更... 越後村...

大寺... 余... 梅... 越後村... 越後村...

十九日

清立休... 越後村... 越後村...

但沖津波... 卯生書

雨梅雨... 卯生書

海女... 卯生書

大人... 卯生書

卯生書

卯生書

卯生書

卯生書

卯生書

卯生書

卯生書

卯生書

卯生書

卯生書

卯生書

卯生書

卯生書

卯生書

卯生書

卯生書

卯生書

卯生書

河に松平十抽、河津村に苗部坂、
子以おりの湖、書道推し、大人、
少無之軒、おれ、おれ、又、
御出、おれ、おれ、おれ、
山崎、山崎、おれ、おれ、
おれ、おれ、おれ、おれ、
大人、御途中、おれ、おれ、

廿八日 晴夕、おれ、おれ、
おれ、おれ、おれ、おれ、
おれ、おれ、おれ、おれ、
おれ、おれ、おれ、おれ、
おれ、おれ、おれ、おれ、

廿九日 晴夕、おれ、おれ、
おれ、おれ、おれ、おれ、
おれ、おれ、おれ、おれ、
おれ、おれ、おれ、おれ、
おれ、おれ、おれ、おれ、

おれ、おれ、おれ、おれ、
おれ、おれ、おれ、おれ、
おれ、おれ、おれ、おれ、
おれ、おれ、おれ、おれ、
おれ、おれ、おれ、おれ、

五月
廿

